

## コンクリートの耐久性確保に係る措置について

昭和61年6月2日付建設省住指発第142号による「コンクリート中に含まれる塩化物総量の規制」、平成元年7月17日付建設省住指発第244号による「アルカリ骨材反応抑制対策に関する指針」が定められ実施されています。

令和4年10月分の製品の分析結果は下記の通りです。

### 1. コンクリート中に含まれる塩化物総量の規制

コンクリート1立方メートル中に含まれる塩化物(塩素イオン換算)の含有量を0.3kg以下とする。

ベストン中に含まれる塩分濃度  
NaCl 0.001 %  
塩素イオン換算値 NaCl × 換算係数  
0.001 % × 0.607 = 0.0006 %  
〔注〕0.607は換算係数(Cl/NaCl=35.5/58.5=0.607)

### 2. アルカリ骨材反応抑制対策に関する指針

普通ポルトランドセメントを使用する場合、コンクリート1立方メートル中に含まれるアルカリ量(酸化ナトリウム換算)の総量を3kg以下とする。

ベストン中に含まれるアルカリ量  
Na<sub>2</sub>O 0.140 %  
K<sub>2</sub>O 0.92 %  
Na<sub>2</sub>O<sub>eq</sub> (R<sub>2</sub>O) Na<sub>2</sub>O + 0.658 × K<sub>2</sub>O  
0.140 + 0.658 × 0.92 = 0.745 %

### 3. 単位セメント量を300kgとした場合の計算例

①コンクリート1m<sup>3</sup>中のベストン量  
300 kg/m<sup>3</sup> × 6 % = 18 kg/m<sup>3</sup>  
②ベストン中に含まれる塩分  
18 kg/m<sup>3</sup> × 0.0006 % = 0.000108 kg/m<sup>3</sup>  
③ベストン中に含まれるアルカリ量  
18 kg/m<sup>3</sup> × 0.745 % = 0.13410 kg/m<sup>3</sup>

以上

令和4年10月31日

## 分析試験結果報告書

御中

ベストン株式会社

東京都荒川区西日暮里5-2-19

TEL 03-5615-3165 FAX 03-5615-3166



試料番号	CG02100-02102
試験年月	2022年10月
品名	ベストン

分析項目	規格値	分析値	
Ig.loss	6 % 未満	5.90	%
SiO <sub>2</sub>	70 % 以上	70.0	%
Al <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	15 % 未満	11.80	%
Fe <sub>2</sub> O <sub>3</sub>	5 % 未満	4.28	%
CaO	5 % 未満	1.57	%
MgO	5 % 未満	2.28	%
R <sub>2</sub> O	1.5 % 未満	0.745	%
NaCl	0.05 % 未満	0.001	%
Na <sub>2</sub> O		0.140	%
K <sub>2</sub> O		0.92	%
Cl <sup>-</sup>		0.0006	%
密度	2.64 ± 0.2	2.74	g/cm <sup>3</sup>

※注 R<sub>2</sub>O=Na<sub>2</sub>O + 0.658 × K<sub>2</sub>O (%)

Cl<sup>-</sup> =NaCl × 0.607 (%)

分析試験実施機関

JFEテクノリサーチ株式会社

ソリューション本部(千葉) 本部長 藤本 京子

〒260-0835 千葉市中央区川崎町1番地(JFE千葉構内)

TEL 043-262-2313 FAX 043-262-2199